

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月23日(木)

事務事業		障害者施設助成事業		担当課	障害福祉課	担当係	給付係	管理番号	3325	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市UACJ障害福祉助成事業実施要領				
	小項目	3	障害者福祉の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		平成19年度より障害福祉施設の支援を図るため、UACJ株式会社他関連会社からいただいた寄附を基金に積立て、その深谷市UACJ障害福祉基金を財源として、障害者福祉施設に対する設備・整備費を助成し、障害者福祉サービス基盤の充実を図る。								
目的 ※何のために		障害福祉施設への財政支援								
対象 ※誰・何を対象に		埼玉県知事又は市長の指定を受けた市内の障害者福祉施設。								
手段 ※どのように		設備・整備費の助成。								
成果 ※何を求めるか		障害福祉施設の基盤の充実。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	UACJ障害福祉基金積立金	2,000,000
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	障害者施設助成事業	2,010,000
本事業の 主な業務		・ 障害福祉施設に対する設備及び整備補助金の交付							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		障害福祉施設補助金交付	障害福祉施設補助金交付	障害福祉施設補助金交付	障害福祉施設補助金交付	障害福祉施設補助金交付	障害福祉施設補助金交付
事業費	予算（現額）	2,183,000	2,154,000	2,392,000	2,182,000	4,042,000	4,032,000
	決算額	2,029,000	1,762,000	2,210,000	2,141,000	4,010,000	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	2,029,000	1,762,000	2,210,000	2,010,000	4,032,000
	一般財源	0	0	0	0	2,000,000	0
人件費	従事職員数（人）	0.41	0.41	0.23	0.21	0.23	0.22
	人件費相当試算※	3,189,390	3,190,620	1,808,030	1,708,560	1,785,241	1,788,897
総事業費試算		5,218,390	4,952,620	4,018,030	3,849,560	5,795,241	5,820,897

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	寄附申請件数		目標値	件						
			実績値		7	7	6	6	5	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			寄附申出によるので目標値は設定できない。						
	実績値の算出式									
活動指標 2	年間寄附額		目標値	千円						
			実績値		2000	2000	2000	2000	2000	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			寄附申出によるので目標値は設定できない。						
	実績値の算出式									
活動指標 3	基金積立額		目標値	千円						
			実績値		2000	2000	2000	2000	2000	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			寄附申出によるので目標値は設定できない。						
	実績値の算出式									
成果指標 1	助成件数		目標値	件						
			実績値		9	10	11	13	11	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請によるので目標値は設定しない。						
	実績値の算出式									
成果指標 2	助成金額		目標値	千円						
			実績値		2029	1762	2210	2141	2010	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請によるので目標値は設定しない。						
	実績値の算出式									
成果指標 3	申請件数に対する補助割合		目標値	%						
			実績値		64.29	66.7	52.38	54.17	42.31	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請によるので目標値は設定しない。						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	前年度と同額の寄附を受納した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	深谷市障害福祉助成事業審査会において助成対象事業所を決定し助成を行った。 前年度と比較し、助成金額はほぼ同額であったが、助成件数が減少し、申請件数に対する補助割合も少なくなっている。
			評価者

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	各事業者からの助成金交付申請について、深谷市障害福祉助成事業審査会において審査を行い、適正に助成対象事業者を決定することができた。
			評価者 給付係長 吉田雅之

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	障害者施設助成事業	担当課	障害福祉課	担当係	給付係	管理番号	3325
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		助成対象となった事業所において、障害福祉サービスの基盤充実が図れる事業として有効な事業である。今後も助成施設に偏りが出ないように、審査会を開催し公平性を確保する。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 障害福祉課長 浅田朱美					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

